

サン共同税理士法人 (サン共同グループ)

総括代表・税理士

朝倉 歩

Ayumu Asakura

Profile

1979年生まれ。約12年間、デロイト トーマツ税理士法人にて実務経験を積んだのち、2016年にサン共同税理士法人を設立、代表社員に就任。職員数120名以上、全国に10拠点を有する法人に成長。2019年、サン共同デジタルコンサルティング株式会社を設立し、自社開発システムやRPA等、最新のDXで会計事務所業務の効率化に注力。2021年、辻・本郷ITコンサルティング株式会社取締役役に就任。2022年、日本中小企業大賞にて「働き方改革 最優秀賞」受賞。2023年、一般社団法人中小企業からニッポンを元気にプロジェクト 理事就任。

Contact

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館15階
<https://san-kyodo-tax.jp/>

More Details



社員の幸福第一の
フレキシブルな働き方を応援し急成長中



スタートアップから経営者に寄り添い多方面からサポート

2016年の創業からわずか6年で全国10拠点にオフィスを開設し、顧問先は2000社を超える。朝倉歩が代表を務めるサン共同税理士法人は、税理士法人にしてこの成長スピードを実現している。その秘密は多い。

三つに焦点を絞ると、一つ目は同法人を核として多様なサービスを提供する一大コンサルティンググループとして業務に当たっていること。グループ内に社会保険労務士法人と行政書士法人があり、それを多面的に支える財務支援や補助金支援のコンサルティング会社、DXやマーケティングを行う会社、さらには人材紹介、M&A、不動産関連会社もたずさえ、12のグループ会社がタッグを組んで幅広いニーズに応えている。

こうした事業の多角化には理由がある。顧問先の大半が新設法人で、まず必要になるのは各種手続きと補助金などの資金調達。そこでは土業や元銀行員を中心に融資サポートチームが活躍する。実際の事業運営では、会社設立に伴う人材採用・労務・会計・税務はもちろん、それに伴うDX整備まで、経営者に伴走しながら局面に応じた支援を、グループの力を集結して行う態勢をとっているのだ。

二つ目はDXで、創業時から最も力を入れている分野だ。自社開発の基幹システムを構

築、開発したのは税理士でありITエンジニアでもあるという稀有な人材だ。最強メンバ―を中心とするデジタル事業部門は、グループ内のシステムを最適化するだけでなく、クライアント企業のDX支援、また高度な専門性を活かして税理・会計事務所向けのDX支援事業に力を入れている。

自社においては、ITを駆使した業務の効率化を徹底。働く環境を良くするのはもちろんだが、一人当たりの生産性が高まると、顧客にサービスをリーズナブルに提供できメリットにつながる。そんな好循環が成長に拍車をかけているのだ。

三つ目として、当初からリモートワークが標準で、業界にあって先駆的だということ。出社日や朝礼などの縛りがなく、働き方の自由度が抜群に高い。「資格試験に向けて勉強時間を確保したい」、「好きな場所に住み、働きたい」、「子育てや介護と両立させたい」、「パートナーの転勤に同伴したい」など、事情に合ったフレキシブルな働き方が定着している。

柔軟さを担保できる背景には、充実した研修制度がある。入社後の研修は動画をオンデマンドで視聴する仕組みだ。よって採用時期、居住地、家庭の事情などによるハンデはない。また、業務はクラウド化により完全ペーパーレスを実現した。税務につきものの繁忙期の残業さえ、ゼロに近づいているという。

時代の変化に対応したコンサルティングで日本一を目指す

多彩な事業体の総括代表を務める朝倉歩は、デロイト トーマツ税理士法人に12年間勤務し、幅広い経験を積み、数多くの重要プロジェクトチームで主任を務めた。やりがいがあり、待遇も良かった。ただ、ビック4といわれる大手税理士法人の顧客は大企業であり、税理士の相手は経理部門に限られる場合が多い。担当者は経理の責任を果たす役割のいち社員。朝倉は「お客さまにダイレクトに喜んでもらえる仕事をしたい」と感じるようになった。

「どんな大企業も、スタートアップの苦しい時期を乗り越えて成長してきたはず。起業時期の経営者に直接寄り添う支援をしたいとの思いがつのって、独立を決意しました」と朝倉は言う。

ところが、ターゲットとなるスタートアップでは、多くが当初は赤字で、税金どころか年間10万円の顧問報酬さえ支払うのが厳しい。実際必要とされるのは、高度な税務以前にまず低価格なサービスと資金繰り支援だった。これは、起業後1年間、朝倉が自ら味わった苦しみでもあった。今、サン共同税理士法人がタスクの効率化を図り、高品質でありつつ価格をリーズナブルにするのも、多様な事業形態で顧客をサポートするのも、こうした

経験があったからだ。「8期目を迎え、設立時からサポートしてきた顧問先の中から上場する会社、その準備に入った会社が現れ、IPO支援も行うようになりました」と、朝倉は手応えを感じている。

「家族である従業員の幸福を追求する」がサン共同税理士法人の基本理念だ。「働く人が幸せでなければ、お客さまを幸せにできません」と朝倉。グループ全体に、いろいろな職種があり、適職との巡り合いを果たす社員も多い。また女性スタッフが約7割を占めるのは、ライフイベントに合わせた働き方が浸透している証。育休から半年で復帰するスタッフもいる。育児と両立できるからではあるが、早期復帰したくなるだけのやりがいがあるとも言えるだろう。

向上心あふれるスタッフが集まるサン共同グループにあって、朝倉が描くビジョンは、「時代の変化に合わせて常にお客さまのニーズに対応できる、日本一のコンサルティングファームを目指します！」

全国10拠点展開。2022年、税理士事務所としては業界初の偉業である、日本中小企業大賞にて「働き方改革 最優秀賞」受賞。IT×AI×DXを駆使し、税理士事務所では想像できないような働き方を構築。全国どこでも仕事ができる環境は本当に圧巻の一言！ 新しい働き方をしたい方にお勧めの税理士法人です。